



みなみ 園だより 3がつ

令和6年3月1日
目黒区立南保育園園長

スロープの沈丁花がいい香りを放ち咲き始めました。寒い日、あたたかい日を繰り返しながら春が近づいてきているのを感じます。

毎朝5歳児クラスが行っていた人数報告当番の引継ぎが4歳児クラスへとつい先日からは始まりました。5歳児が4歳児2名を連れて毎朝事務所へやってきて当番のやり方、することをそれぞれの伝え方で教えています。普段5歳児が1人で来ていたときは「これどうするのかな。わからない」と大人に聞いていた子が、「おねえさんが〇〇するから見ててね」と4歳児にすました顔で教えていたので、小さい子の前ではかっこよくできるところを見せたい気持ちが育っていると改めて感じました。

大きく健やかに育った5歳児クラス21名の子どもたちは小学校へと巣立っていきます。色々な場面がかっこいいところを見せてくれたり、優しく関わってくれました。しっかりと小さいクラスの子もたちの心に残っていると思います。4歳児クラスの子もたちは、次は自分たちの番だと張りきっています。

子どもたちは人と関わり、実体験の中から色々なことを感じ学び取っていきます。そこから得た力に自信を持ってまたひとつ大きくなる子どもたちを、これからも保護者の方々と共に見守っていきたいと思います。

今月の行事予定

卒園式 5歳児

0歳児健診

お別れ遠足(3, 4, 5歳児)

お別れ散歩(5歳児)

お別れ会

*身体計測 避難訓練 全クラス

保育士の指に貼ってある絆創膏を見て「きゅうきゅうしゃ、よぶ?」と心配そうに言っていました。

つぶやき
~1歳児
てんとうむし組~



自分のイメージの中でお店屋さんを楽しんでいた子が、棚の上に「どーぞ。どーぞ。」とジュースを並べていきます。そこへ友達が来て「じゃあ、カードで」と言ってジュースを一本持って、「いってきます」と出かけていきました。

『おみせやさんごっこを終わって』

幼児クラスそれぞれが「フードコートでんでん」「ダンボールランド」「とんぼライブ」のお店を開き、子どもたちは店員やアイドル等になりきってごっこ遊びを楽しみました。お客さんになった子どもたちは、同じマークの別のクラスの子とお店を回りにいきます。手をつなぎ「そっち行きたいの」と年上の子が年下の子をリードしながら、各お店で歌に合わせて手作りペンライトを思い切り振って盛り上がり、ゲームをして笑い合い、同じことを一緒に体験し楽しんでいました。数日後、3歳児クラスの部屋の方から大きな声が聞こえてきました。声を聞いて同じマークの異年齢の友達と気づくと「どうしたのかな」と心配になる5歳児がいました。お店屋さんごっこでなりきる楽しさと異年齢の関わりが深まりました。

特集

一年間で成長した子どもたちの姿をお伝えします。



0歳児・ありんこ組

歩行が安定し歩く、小走りする、少し高い所をバランスを取り落ちないように歩こうとする等、動きが大きくなりました。全身に力を入れたり足腰に力を入れて動く姿もあります。タイヤ運びは、転ばないように体や足元を支えながら運びます。幾つも運び、保育士が「いっぱいだね」と言うと嬉しそうに笑い「ねー」と言っています。段ボール箱を押す遊びでは全身に力を込めて進み、箱を少し浮かせて方向転換、と力を調節しながら進みます。体の動かし方を自分で考えながら遊んでいる子どもたちの姿に成長を感じます。

1歳児・てんとうむし組

一人遊びをじっくり楽しむ時間を大切にしてきたことで友達と「おなじ」ことを喜ぶようになりました。好きな遊びを通じて自然に同じ場所や玩具で遊ぶようになっていきます。リブブロックで「でんしゃなの」と走らせていた子の隣で、同じ玩具で「これはおおいまちせん」と並行して電車を走らせ遊んだりもしています。個々のペースで好きなことにじっくり向き合えるように援助してきたことで、友達への関心も高まり、遊びの中で少しずつやりとりをする姿が増えてきています。

2歳児・みつばち組

体育棒の一本橋、一歩が踏み出せず、後ろに友達がくると先を譲ってをいることを繰り返しています。保育士が手を差し伸べると、渡りきることが出来ました。次は30センチの高さのビーム渡り。自力で渡ろうと一歩ずつ慎重に渡ります。後ろには長蛇の列ですが、誰一人急かすことなく待っていてくれたことで、一人で渡りきることが出来ました。『じぶんで』と自己主張しながらも思い通りにならないと、泣いたり怒ったりしながら、『じぶんで』と意欲は満々でいろいろな経験を積み重ね、自分で出来ることが増え、出来たことに自信を付けた一年でした。

3歳児・でんでんむし組

様々なことに興味や関心がある子どもたちは、異年齢がやっている遊びやゲームが気になりよく見えています。見終わると「先生、あれやってみたい」と言っています。しかし、異年齢のルールでは難しいので子どもたちが分かるルールでやってみました。初めはボールや鬼から逃げることを楽しんでいましたが、繰り返し遊んでいく中で、ボールに当たったり鬼にタッチされたりすることで悔しい思いをするようになりました。反面、友達と一緒にルールのある遊びの楽しさも分かってきています。

4歳児・こおろぎ組

先日のお店屋さんごっこでは段ボールを使って何を作りたいか、どんなことができるかアイデアを出し合い制作を楽しんできました。ロボットの腕が動くためにはどうやったらいいか悩んでいる子に「穴をあけて棒を通すと動くと思うよ」と工作名人の子がヒントをくれました。一緒に作ってみると、見事腕が前後に動き「発明家だね」と大絶賛でした。同じ目標に向かって友達と相談したり色々試したりして作り出す楽しさや喜びを共有してきたことで、友達との関わりが深まってきました。

5歳児・とんぼ組

とんぼ組の一年は挑戦の年になりました。できるかどうか不安で、初めてのことに手を出す勇気がなかった子も、友達に「やってみないと分からないじゃん」「みんなでやろうよ」「一緒に力を合わせようよ」と励まされながら、挑戦すればできるようになることを実感し、意欲に変わっていきました。自信を持った子どもたちは友達同士で教え合ったり喜び合ったりしています。「みんなでやってみよう」が合言葉になり、認め合える友達がいるからこそ、挑戦することが楽しみになりました。